

## 平成 28 年度 市町村河川情報委員 情報交換会議を開催

石狩振興財団は、10月27日に、札幌市内で平成28年度の市町村河川情報委員情報交換会議を開催しました。

市町村河川情報委員は、石狩川流域の全46市町村の河川事業担当部長・課長から構成されており、当財団は、河川や川からのまちづくりについての情報を市町村間で共有することを目的に、毎年、市町村河川情報委員が出席する情報交換会議を開催しています。

今年度は、石狩川流域全46市町村の内38市町村の河川情報委員（代理含む）が出席した他、札幌管区气象台、北海道開発局、北海道からも出席いただきました。今年は8月に大きな水害があったため、災害申請等に忙しい市町村があり、昨年（44市町村が参加）よりも参加市町村数が減りました。

昨年9月には関東・東北豪雨があり、利根川水系の鬼怒川で堤防が決壊し、大きな被害が生じました。その際も、気象現象が激甚化しており、これまで降ったことのない大雨が石狩川流域で降る可能性が指摘されましたが、今年8月には、台風7号（17日）、11号（21日）、9号（23日）と3つの台風が連続して北海道に上陸し、さらに、10号が接近し、大雨が続きました。これにより、11号、9号ではオホーツク海側の網走川、常呂川、湧別川で計画高水位を超え、石狩川では深川市納内、旭川市神居古潭において浸水、さらに10号では、十勝川で計画高水位を超え、石狩川流域の南富良野町では空知川の堤防が決壊して、幾寅市街地の多くの家屋が床上浸水しました。これは、石狩川本川の堤防が破堤して大水害となった昭和56年以来の大きな水害です。

このため、今年度の情報交換会議は、今年8月の出水がどのようなものであったのか、情報共有することを主な目的として開催し、はじめに、8月の気象状況について、札幌管区气象台の山下気象防災情報調整官から、情報提供していただきました。続いて、国管理河川の状況について、北海道開発局河川管理課の山田河川情報管理官から、北海道管理の河川の状況について、北海道河川砂防課の松田主幹（代理：大畑主査）からお話しいただきました。また、今回の出水における市町村対応状況について、空知川が破堤した南富良野町の岩淵建設課長から、北海道で初めてタイムラインを作成し、今回運用した滝川市の千葉防災危機対策室長からお話しいただきました。南富良野町からは、避難所で撮影した動画を見せていただきましたが、改めて水害の恐ろしさを感じました。これに続く意見交換では、今回の水害で避難勧告等を発令した、深川市、旭川市等から市民の反応等について意見が出されました。

今回の情報交換会議では、今年8月に北海道及び石狩川流域で実際に生じた災害情報を共有化することにより、激甚化する気象災害がどの市町村でも起こりうることを、参加者全員が実感できたのではないかと思います。人的被害を防ぐためには、国、北海道、市町村が、災害に関する情報を共有し、一体となって減災に取り組むことが重要ですので、当財団としては、国、北海道、市町村が一堂に会して議論する場として、情報交換会議が貢献できるものと考えています。

# 次 第

開催日時 平成 28 年 10 月 27 日 (木) 14:00～  
開催場所 ホテル札幌ガーデンパレス

1 開会挨拶 石狩川振興財団会長 黒氏 博實

2 議 題

(1) 情報提供

- 今年の夏の大雨の特徴と災害について  
札幌管区気象台気象防災部気象防災情報調整官 山下 龍平 氏
- 平成 28 年 8 月の大雨による出水の概要について  
北海道開発局建設部河川管理課河川情報管理官 山田 拓也 氏
- 平成 28 年 8 月の大雨による北海道管理河川の状況について  
北海道建設部土木局河川砂防課主幹 (河川計画) 松田 哲夫 氏
- 南富良野町における災害対応の概要について  
南富良野町建設課長 岩淵 秀一 氏
- 石狩川滝川地区水害タイムラインの概要について  
滝川市総務部防災危機対策室長 千葉 豊 氏

(2) 意見交換

(3) 会議全体に関する質疑・応答

(4) 財団からの情報提供

(5) 情報交換会



開会挨拶  
石狩川振興財団 黒氏会長



今年の夏の大雨の特徴と災害について  
札幌管区気象台 山下気象防災情報調整官



平成 28 年 8 月の大雨による出水の概要について  
北海道開発局 山田河川情報管理官



平成 28 年 8 月の大雨による  
北海道管理河川の状況について  
北海道 松田主幹 (代理: 大畑主査)



南富良野町における災害対応の概要について  
南富良野町 岩淵建設課長



石狩川滝川地区水害タイムラインの概要について  
滝川市 千葉防災危機対策室長